

彩小ふれあいだより

平成22年11月29日

下河内神楽団来る！

広島市立彩が丘小学校
校長 竹川 智子



11月20日(土)第17回校内音楽会が終わり、正午から「PTAふれあい広場」が開催されました。今年度は、地元河内で活動されている下河内神楽団のみなさんをお招きして、神楽を公演していただきました。

この下河内神楽団の中には、本校の6年生の坂本大輝君や卒業生も所属して活躍しているそうです。団長の山下清隆様も本校の保護者で、神楽団の発展にご尽力されております。

当日は、彩父の会のみなさんに早朝よりコンパネを運んでステージづくりをしていただきました。午後1時から中庭の特設ステージで、「悪狐伝」(あっこでん)という演目で50分近く公演していただきました。公演の途中でお客さんとやりとりするなど、客席と演者が一体になった神楽で、とても迫力のある演技でした。当日は、児童、保護者だけでなく、地域の皆様にもたくさんおいでいただきありがとうございました。

下河内神楽団の紹介

江戸時代末期、天保年間(約180年前)にこの地に伝わった安芸十二神祇神楽(伊勢神楽)を受け継いでいるそうです。

戦時中は一時中断した時期もありましたが、戦後間もない昭和24年に有志が集まって、活動を再開されました。

平成に入り、活動の幅をさらに広げるために、広島県北部などを中心に奉納されている芸北神楽を取り入れ、伝統の十二神祇神楽とともに河内神社を拠点として各種イベントなどで、奉納されているそうです。



集会所でいつも活動しているので、興味のある方は、是非活動の様子を見学してみてくださいとのことでした。

